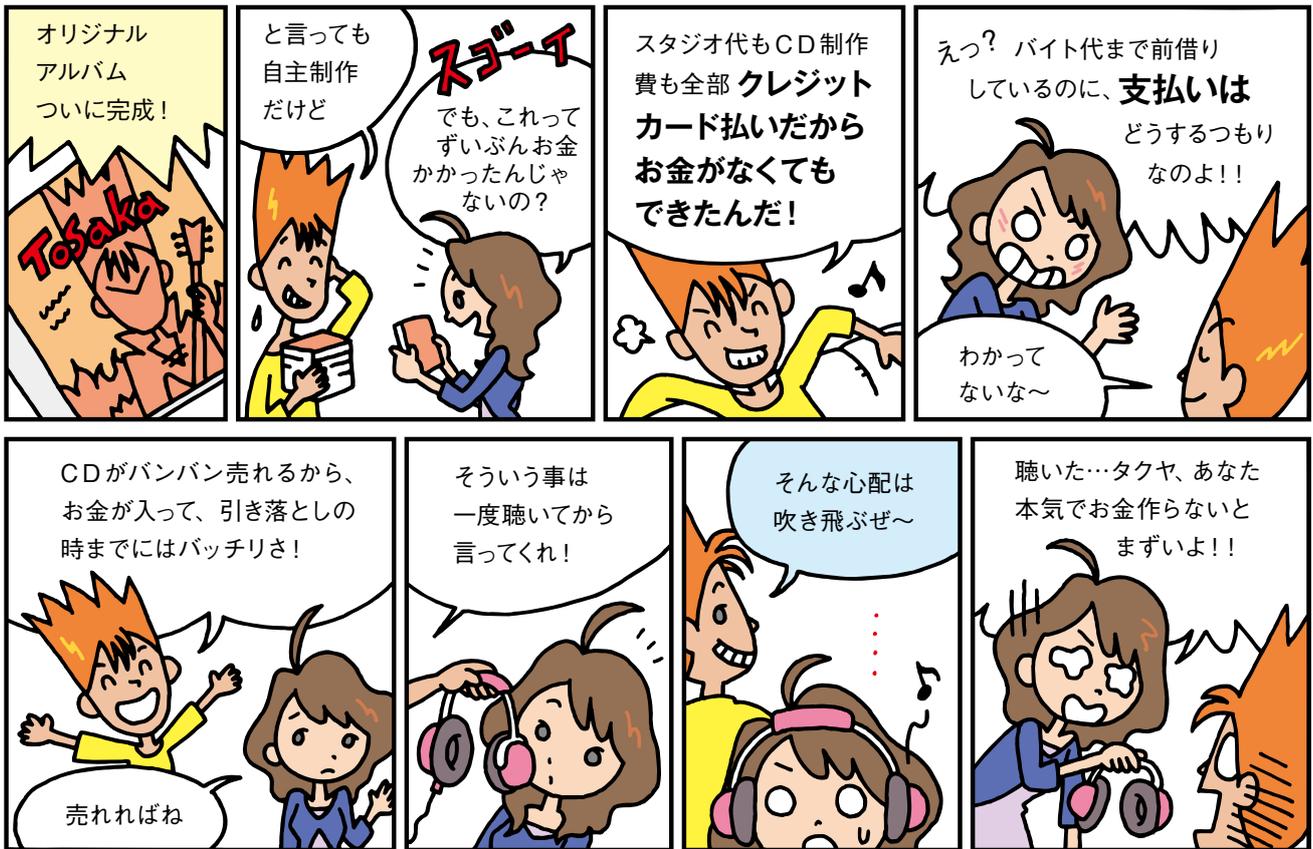


## — 現金の代わりに使うのがクレジット —



### D 1 クレジットとは 時空を超える発明品?!

**クレジット**は、先に商品を買ったり、サービスを受けたりして、その代金を後で支払う約束のことです。

家にはあるけれど手元に現金を持っていない、今月はお金がないけれど来月には給与がもらえる...のように、お金を持っていなくても、クレジットを利用することで、欲しいものを手に入れて、支払いを後にすることができます。

クレジットの利用代金はいったんクレジット会社が立替えて加盟店に支払います。利用者は、支払いを後にすることができるだけで、決められた期日には支払わなければなりません。これは借金をしているのと同じことですから、収入の範囲で計画的に利用することが必要です。

#### クレジット (credit)

「信用」を指すことば。「後払い」は利用者の信用によって成り立つ。



## D 2 クレジットの特徴 カードがあれば何でも買えるの？

ローンと同様にクレジットにも、利用限度額（p11参照）の範囲内ならいつでも何回でも利用できる方式（クレジットカード）と、利用するたびに契約書を取り交わす方式（個別方式）があります。

クレジットカードは、ふだんの生活に密着した買い物やレストランでの食事などに多く利用される傾向にあります。また、利用限度額を超える高額な買い物はできないことになっています。

これに対して、個別方式のクレジットは、ひとつの商品を購入するごとに、その商品を購入するためのクレジットの申込みを行い、そのつどクレジット会社の審査を受けて利用するものです。例えば、自動車の購入など、クレジットカードの利用限度額を超えるような高額な買い物にも利用されます。

クレジットは便利なものですが、現金のやり取りをしないため、お金を使うという感覚をもちにくいものです。使う前に、本当に必要かどうかをよく考え、使い過ぎないようにする注意が必要です。



## D 3 クレジットの支払い 分割で支払うと手数料がかかる！

クレジットの支払いを分割して行う場合には、ふつう手数料がかかります。代金と手数料を支払うことになるため、現金で支払うよりも負担が大きくなります。

### ●分割払いの手数料例

支払い例：5万円の商品を「10回の<sup>がんりきんとう</sup>元利均等払い、手数料年率14.25%」で購入すると

毎月の支払額 5,333円×10回 →支払合計：53,330円

現金払い、一括<sup>いっかつ</sup>払いとの差：3,330円



クレジットカードを落とすと拾った人に使われてしまう危険があるため、カードを郵送で受け取ったら、まず、カードの裏面の署名欄にサインをします。また、カードをきちんと管理し、利用明細書は保管しておき請求書が届いたら確認するようにします。

クレジットカードの一括<sup>いっかつ</sup>払いの場合、決められた期日に1ヵ月分をまとめて支払うので、月々の家計が管理しやすいというメリットがあります。

図D-1 クレジットカードのメリット・デメリット

<p><b>メリット</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 後払いにできる。通信販売の支払いが簡単にできる。</li> <li>● 多額の現金を持ち歩く必要がないため安心。海外でも利用できる。</li> <li>● 分割払いにできる。</li> </ul>
<p><b>デメリット</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 使い過ぎる心配がある。</li> <li>● クレジットカードを紛失したり盗まれたりして、他人に悪用される心配がある。</li> <li>● 分割払いにすると手数料（金利）がかかる。</li> </ul>



## D 4 三者間契約 **お店にはサインを、クレジット会社にはお金を!**

クレジットは三者間契約です。クレジットで購入した商品などの代金は、クレジット会社がいったん立替えて加盟店に支払い、後日、購入者の預金口座からクレジット利用代金が引き落とされます。

クレジットカードで支払うときには、加盟店でカードを提示し、伝票へサインまたは専用の端末機への暗証番号の入力を行います。

これは、カードを使っている人がカードの持ち主本人であることを証明するためです。また、カード裏面の署名欄にきちんと自分のサインをしておくことで、紛失・盗難の際に、書き込まれて、本人になりすまして使われてしまうことが防げます。なお、サインする前に、伝票の内容が正しいことを必ず確認します。



### 暗証番号

クレジットカードや銀行のキャッシュカードを利用するときに、利用者本人のものであることを確認するために暗証番号が必要になる。

カードの情報を盗み不正に使用する犯罪が多発している。

紛失・盗難などに備え、他人に推測されにくい暗証番号にしたり、定期的に変更したりすることで安全性を高めることができる。

## D 5 クレジットカードの機能 **海外では現金よりもカードが喜ばれる?**

クレジットカードには、次のような機能があります。

図 D-2 クレジットカードの機能

支払機能	<p>クレジットカードの使い方は大きく分けて次の2とおりある。</p> <p>①「いまはお金がないからカードで支払う」という使い方</p> <p>②「お金はあるが、多額の現金を持ち歩くのは危ないなどの理由でカードで支払う」という使い方</p> <p>クレジットカードの多くは、国内だけでなく、海外でも使うことができる。</p> <p>国によっては治安が悪く危険な場所が多いところもあるので、特に海外では②の使い方が役立つ。</p> <p>クレジットカードは、代金を1回で支払うほか、何回かに分割して支払うこともできる。</p>
借入機能	ATMなどでお金を借りる(キャッシングする)ことができる。
ID機能	クレジットカード所有者(=会員)であることがカードによって証明されると、カードの支払い能力があり信用できると判断される。
その他の機能	<p>カードによっては次のような機能がついているものもある。</p> <p>①カードを見せれば代金の割引が受けられる割引サービス</p> <p>②利用金額に応じてもらえるポイントを貯めると景品などがもらえるポイントサービス</p> <p>③旅行、レストラン、劇場などの予約サービス</p> <p>④盗難保険、旅行保険、カードで買った商品の破損を補償する保険などの保険サービス</p>



### ID (Identification)

本人であることの証明。銀行などで預金口座を開設する際にも本人確認書類の提示が求められる。運転免許証、パスポート、健康保険証などが本人確認書類の代表的なもの。

## D 6 クレジットカードの仕組み 代金は後日、口座から引き落とし!

クレジット会社と契約を結び、カードで支払いをしてから代金が引き落とされるまでの流れは次のとおりです。複雑に見えますが、利用者はカードを使って買い物をして、クレジット会社からの請求金額を引き落とし日までに**預金口座**に入金しておきます。

①**申込み** クレジットカードの会員になる申込みをします。その際には、代金を支払う口座を指定しておきます。

②**カード発行** クレジット会社は、審査のうえカードを発行します(=クレジットカード会員となります)。

※インターネット上の決済のためのクレジットカードの場合は、カードの代わりに認証番号が発行されます。

③**利用店舗** クレジットカードは、そのクレジット会社と契約している店(クレジット加盟店)でしか使えません。加盟店かどうかは、お店の入口やレジの近くに貼ってあるステッカーなどが目印です。

利用者は加盟店にカードを提示(見せること)して、商品やサービスの代金をカードで支払いたいと申し出ます。

④**照会(問い合わせ)** 加盟店は、クレジット会社にCAT(Credit Authorization Terminal)と呼ばれる端末や電話で利用限度額を超える支払いにならないことなどを照会します。

⑤**承認** 照会の結果、支払いの承認を受けます。

⑥**サイン** 利用者は売上票にサインし、加盟店に渡します(サインの代わりに暗証番号を入力することでも可能な場合があります)。

⑦**引き渡し** 加盟店は、売上票とカードの裏面のサインが一致していることを確認のうえ、商品・サービスを提供します。

⑧**売上げの連絡** 加盟店はクレジット会社に売上票を送って売上げの報告をします。

⑨**立替え払い** 加盟店はクレジット会社から、売上金額から一定の手数料を除いた金額の支払いを受けます。これは利用者からみると、クレジット会社に立替え払いをしてもらったことになり、お金を借りたことになります。

⑩**請求** クレジット会社は利用者へ利用明細書を送り、請求額を知らせます。

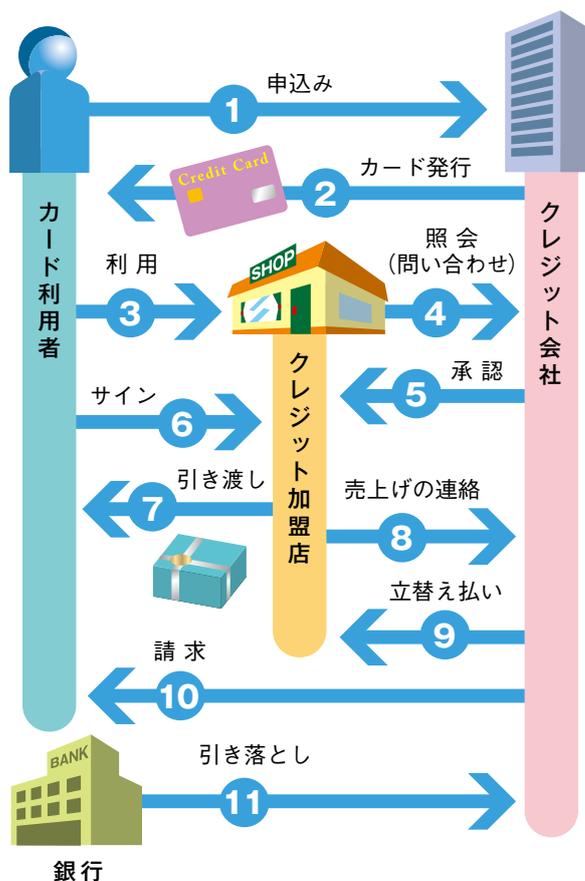
⑪**引き落とし** 会員が①で指定した銀行の口座に利用金額を預けておけば、期日に自動的に引き落とされ、クレジット会社の口座に入金されます(これを**口座振替**といいます)。

これでクレジット会社に立替えてもらったお金を返済したことになり、決済(貸し借りの関係が最終的に終了)したことになります。

### 預金口座

クレジット会社と契約するには支払いのための預金口座(総合口座、普通預金口座など)が必要になる。クレジットで商品やサービスを購入した場合、定められた日(引き落とし日)に、利用者の預金口座から振り替えられる。

図D-3 クレジットカードの仕組み(三者間契約)



### “クレジット”のポイント



- クレジットは、商品を買ったり、サービスを受けたりした代金を後で支払う約束。
- クレジットカードの機能には、支払機能や借入機能などがある。
- クレジットの代金は、カード会社が立替えてお店に支払い、利用者はカード会社に支払う。
- クレジットの分割払いには手数料がかかる。
- クレジットカードを使うときは、サインの前に金額をよく確認する。
- クレジットの代金は、期日までに銀行口座に入金する。

今月は、カードの支払いをしても、生活費にこれだけ残る!

キッキキ

